

2005年11月14日

丸文が自動車分野向けに超音波金属接合、超音波ソルダリングシステム販売を開始 強力超音波技術メーカー アルテクスと代理店契約を締結

エレクトロニクス専門商社の丸文株式会社（社長：佐藤 敬司、本社：東京都中央区、資本金：62億1,450万円 以下 丸文）は、超音波応用装置メーカーである株式会社アルテクス（代表取締役：佐藤 茂、本社：福岡市博多区、資本金：6300万円、以下 アルテクス）と販売代理店契約を締結し、同社が開発・製造した超音波金属接合装置ならびに超音波ソルダリング装置の販売を、自動車分野をターゲットに開始することになりましたので、お知らせします。

アルテクスは、強力超音波応用装置の開発・製造を行うベンチャー企業です。同社の超音波応用装置は、超音波ツールを両サイドでグリップする¹DSSTM（Dual Support System）構造や、超精密加工制御技術²VSPTM、さらに³Sonic&HeatTM技術など、独自の要素技術が多く組み込まれているのが特徴です。自動車や半導体、エネルギー分野などで最先端のアッセンブリー工法が要求される中、アルテクスでは、独自の超音波技術を用いた連続接合、マイクロ接合、ソルダリングなどの応用装置を開発し、リチウムイオン電池やハイブリッドカー関連に搭載されているニッケル水素電池の量産、パワーコントロールユニット（パワーモジュール・IGBT・インバータ）や半導体のフリップチップの製造向けに、多くの採用実績を持っています。

丸文は、これまで最先端のレーザ発振器を応用したレーザ加工機事業を展開してきました。このたびの提携により、アルテクスの超音波技術を応用した様々な接合システムが販売製品に加わることになり、最先端技術による加工機事業の強化が推進できると考えています。丸文では、ハイブリッドカーや燃料電池車などにより今後の市場拡大が予想される自動車分野に向けて、超音波金属接合装置ならびに超音波ソルダリング装置などを拡販していく考えです。

<株式会社アルテクスの概要>

本 社 : 福岡市博多区東比恵 2-19-18
設 立 : 1990年9月
代表者 : 代表取締役社長 佐藤 茂
従業員 : 20名（2005年10月現在）
資本金 : 6300万円
売上高 : 10億円（2004年度実績）
事業内容 : 強力超音波応用装置の開発および販売

株式会社アルテクスの詳細については、www.ultex.co.jp をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 広報室

担 当 : 蟹澤（加邇）

東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1 〒103-8577

TEL:03-3639-9803 FAX:03-5644-7693

E-mail:kanisawa@marubun.co.jp

別紙 1

用語解説

¹DSS™ (Dual Support System) 構造 :

一般的に超音波のツールは片側から支えられる構造だが、両側から支持することで剛性と精度を高めた量産の為の構造技術。

²VSP™ :

超音波ツールを対象物に押し付けて超音波を伝搬させるが、その際の加圧力を高精度で制御する精密技術。

³Sonic&Heat™技術 :

通常超音波接合技術は常温で使用されるのが、超音波に熱をハイブリッドすることでエネルギーの利用効率を高めた新技術。

< 丸文株式会社について >

本 社 : 東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1

設 立 : 1947 年

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 敬司

従業員 : 849 名 (2005 年 4 月現在)

資本金 : 62 億 1,450 万円

売上高 : 1,708 億円 (2005 年 3 月期連結)

事業内容 : 集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売する専門商社。北米やドイツの最先端レーザ発振器やレーザ加工機を輸入販売する一方、半導体前工程においては、化合物半導体用の MBE 装置や MOCVD 装置を、後工程では、インライン向け IC 外観検査装置やバーンインテスタなどの検査・製造関連装置を取扱う。

東京証券取引所市場第 1 部に上場。(コード番号 : 7537)

丸文株式会社の詳細については、www.marubun.co.jp をご覧ください。